

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【公開番号】特開 2005-328904 (P2005-328904A)

【公開日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-047

【出願番号】特願 2004-147945 (P2004-147945)

【国際特許分類】

A 6 1 L 9/22 (2006.01)

B 0 1 J 19/08 (2006.01)

F 2 4 F 7/00 (2006.01)

H 0 1 T 23/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 9/22

B 0 1 J 19/08 C

F 2 4 F 7/00 B

H 0 1 T 23/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

誘電体を挟んで対向する放電電極と対向電極とを設け、前記放電電極に対して、前記対向電極を基準とする正または負のいずれかの範囲で単位波形を繰り返すことにより時間変化する波形を有する電圧と、前記電圧とは逆の極性の範囲で単位波形を繰り返すことにより時間変化する別の波形を有する電圧とを交互に印加し、正イオンおよび負イオンの両方を発生させる、イオン発生装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のイオン発生装置が 2 以上組み合わせられ、少なくとも 1 つのイオン発生装置において前記正の範囲で時間変化する波形を有する電圧を印加する際には他の少なくとも 1 つのイオン発生装置において前記負の範囲で時間変化する波形を有する電圧を印加することにより正イオンおよび負イオンの両方を発生させる、イオン発生装置。

【請求項 3】

誘電体を挟んで対向する放電電極と対向電極とを設けたイオン発生装置が 2 以上組み合わせられ、少なくとも 1 つのイオン発生装置においては、放電電極に対して、対向電極を基準とする正の範囲で単位波形を繰り返すことにより時間変化する波形を有する電圧を印加し、他の少なくとも 1 つのイオン発生装置においては、放電電極に対して、対向電極を基準とする負の範囲で単位波形を繰り返すことにより時間変化する別の波形を有する電圧を印加することにより、正イオンおよび負イオンの両方を発生させる、イオン発生装置。

【請求項 4】

前記時間変化の速度を調節することにより正イオン発生量および負イオン発生量を制御する、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のイオン発生装置。

【請求項 5】

単位波形の繰り返し頻度を調節することにより、正イオン発生量および負イオン発生量

を制御する、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載のイオン発生装置。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載のイオン発生装置を備え、正イオンおよび負イオンを空气中に送出する空気調節装置。